

News Release

2009年3月期第2四半期 4305:IMJ決算サマリー

売上高9,202百万円、経常利益は前年同期比で199百万円改善し97百万円に

上半期が終了し、売上高は連結子会社が前年に比べ5社減少したため、前年同期比で98.4%でしたが、景気低迷の中、継続企業グループの前年比は103.5%と成長いたしました。

これは、Web インテグレーションセグメントで既存顧客の深堀（1社当たり売上への成長）が順調に進み、既存顧客単価が前年同期比118.4%と伸張したこと、モバイルインテグレーションセグメントにおいて4月に人材派遣事業を譲り受けたこと、好調なモバイル市況を受けてモバイルインテグレーションのセグメント売上高が前年同期比129.9%と大きく成長したことが要因となっております。

第2四半期までの累計経常利益は、前年▲102百万円から199百万円改善し、97百万円となりました。第2四半期だけで見るとWeb インテグレーションセグメントの営業利益は132百万円と大きく利益貢献したことをはじめ、全セグメントが黒字化し、連結経常利益は236百万円となりました。

しかしながら、上半期は景気減速の影響を受け、社内売上計画を若干下回っております。これはWeb インテグレーションセグメントで新規顧客売上高が計画を下回ったことが主な要因なのですが、今後の対策のひとつとして新規顧客獲得を博報堂との協業で推進して参りたいと思っております。

第2四半期は全セグメント営業黒字となりました

■ウェブインテグレーション事業

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は3,226百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高45百万円を含む)となり、営業利益は73百万円となりました。ウェブインテグレーション事業においては、第2四半期及び第4四半期に納品が集中する傾向があるため、当第2四半期連結会計期間は売上高1,731百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高32百万円を含む)、営業利益132百万円を計上し、当第2四半期連結累計期間での営業利益は大幅に改善いたしました。

■モバイルインテグレーション事業

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は3,234百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高245百万円を含む)となり、営業利益は70百万円となりました。

前年の教訓を活かしたトラブル防止策において、プロジェクトマネジメントと経費削減を徹底したことに加え、4月に子会社の株式会社エム・フィールドにおける事業譲受による、事業の拡大により、当第2四半期連結会計期間は売上高1,589百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高126百万円を含む)、営業利益37百万円を計上し、第1四半期連結会計期間に引き続き売上高、営業利益ともに好調に推移いたしました。

■エンタテインメント事業

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は1,055百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高12百万円を含む)となり、営業損失は24百万円となりました。

売上高につきましては計画通り推移しましたが、営業損失を計上することとなりました要因は映画事業において一部の劇場公開作品が計画を下回る収入であったためであります。

ゲーム事業の営業利益改善により当第2四半期連結会計期間は売上高533百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高7百万円を含む)、営業利益53百万円を計上し、当第2四半期連結累計期間での営業損失は改善いたしました。

業績は回復しましたが、ゲーム事業において他事業との今後の事業シナジーを考慮した結果、ゲーム事業を展開する株式会社モバイル&ゲームスタジオについては、株式の一部を株式会社シー・エー・モバイルへ譲渡し、当第2四半期連結会計期間より連結子会社から持分法適用の関連会社へと変更しております。

■広告マーケティング事業

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は 2,015 百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高 25 百万円を含む)となり、営業利益は 17 百万円となりました。

第1四半期連結会計期間は当社の広告事業を手がけるIMO 事業本部でのSEO 事業及び、前年に設立した戦略子会社の事業立ち上げ期による一時的な収益低下及びコストの増加により、営業損失を計上いたしましたが、当第2四半期連結会計期間においてコスト削減を実施し、利益率を向上させることができたため、当第2四半期連結会計期間は売上高 1,017 百万円(セグメント間の内部売上高又は振替高 13 百万円を含む)、営業利益 36 百万円を計上し、当第2四半期連結累計期間での営業利益は大幅に改善いたしました。

■決算短信

1. 2009年3月期 第1四半期(2008年4月1日～9月30日)連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
09年3月期第2四半期	9,202 百万円	80 百万円	97 百万円	19 百万円
前年同時期*	9,353 百万円	▲128 百万円	▲102 百万円	▲96 百万円
前期比	151 百万円減	208 百万円増	199 百万円増	115 百万円増

* 当社は前期が9月1日～3月31日までの変則6ヶ月決算だったため、前年同時期の比較として、07年4月1日～9月31日の業績を記載しております。

2. 連結財務状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株あたり純資産
2008年9月末	11,550 百万円	8,402 百万円	65.1%	41,398.64 円
2008年3月末	11,336 百万円	8,482 百万円	67.4%	42,228.23 円

3. 2009年3月期の連結業績予想(2008年4月1日～2009年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	21,000 百万円	700 百万円	700 百万円	300 百万円

以上

株式会社 アイ・エム・ジェイ
取締役 執行役員 兼 CFO 堀口雄二
TEL : 03-5759-0840 e-mail : irpr@imjp.co.jp